

のどがイガイガする、ヒリヒリする、のどに何かある、つまり、はれている、など「咽喉異物感」には、さまざまな症状があります。のどはとても敏感な場所です。いろいろな原因で多彩な症状が起こります。のどに異物感が起こりやすいのはなぜでしょうか。これは、のどの仕組みと関連があります。

のどの大きな特徴は、空気が通る（気道）としての役割と、食べ物が通る（食道）としての役割を兼ねている点です。また、のどには、声を出す機能もあります。のどは咽喉と喉頭からできています。咽喉は上咽喉、中咽喉、下咽喉に分けられ、上咽喉は鼻と、中咽喉は口とつながっています。また、下咽喉の下には食道もあります。通常、呼吸をするときには鼻から空気が入り、咽喉を通って喉頭、気管、気管支、肺へと送られます。また、食事をするときには、口から食べ物が入り、咽喉を通って食道へ送られます。このようにのどは、空気の通り道（気道）であると同時に、食べ物の通り道（食道）でもあるのです。のどは、呼吸と食物摂取という2つの機能の入り口にあたるため、汚染、刺激にさらされ

やすく、異物感が起こりやすいと言われています。

実際に「咽喉異物感」で耳鼻咽喉科を受診される方は、全外来患者の5〜10%と言われています。年齢は30〜50歳代に多く、女性が男性の1.2〜2倍です。発症から数日〜6か月以内の受診が多いとの報告があります。「咽喉異物感」の原因となる疾患は数多くあり、診断を下すには、問診、視診、内視鏡検査、画像検査、血液検査などのいろいろな検査が必要となります。のどの病気の多くは、のどの状態を直接目で見たり、声を聞くことで診断することができません。

また最近では、のどの状態を詳しく見たり、直接目で見ることはできないのどの奥（喉頭、下咽喉）などを見る場合には、ファイバースコープが用いられます。癌などの腫瘍が疑われる場合は、CTやMRIなどの画像検査が行われることもあります。その他、全身的な原因を調べるために血液検査を行うこともあります。

次に「咽喉異物感」の原因となる疾患を紹介いたします。まずよく見られるのが、のどや鼻に炎症が起こっている場合です。咽喉炎、喉頭炎、扁桃炎などがあると、異物感となります。

わたしたちの健康

また、鼻炎、アレルギー性鼻炎で鼻がつまっていると、乾いた冷たい空気が直接のどを刺激し、のどの粘膜の状態が悪くなります。副鼻腔炎（ちくのう症）があると、鼻の奥から鼻水が落ちてきて（後鼻漏）、異物感の原因となります。「咽喉異物感」の背景に重大な病気が隠れていることもあります。のどの癌や食道の癌です。のどの癌で一番多いのは喉頭癌です。声がかすれたり、ヘビースモーカーは注意が必要です。下咽喉癌もその一つです。この癌は、お酒が大きく関係しています。また最近増えているものとして、咽喉頭異常感症という疾患があります。これは、ファイバースコープなどのいろいろな検査を行っても異常がないもので、ストレスなどの心因的な要素が考えられています。他に、胃液がのどに逆流する逆流性食道炎、貧血なども異物感となることもあります。

このように「咽喉異物感」には原因があります。のどの疾患の多くは、直接目で見て診断や治療ができるといういい面もあります。気になる方は、耳鼻咽喉科で、ファイバースコープなどの検査をされることをおすすめします。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時〜午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)	
9	2	朝霞	所医院	糖内・内・小	463-1316	志木	たなか整形外科クリニック	整外・リウ・リハ・麻	486-1010
	9	新座	新堀クリニック	小・小児アレルギー・思春期内科	042-479-4124	和光	門田医院	内・循内・皮・小	461-6412
	16	朝霞	北朝霞駅前クリニック	内	486-6333	新座	須田整形外科	整外・リウ・リハ・内	478-2688
	17	新座	たきやま小児クリニック	小・アレ	477-8620	和光	和光駅前クリニック	外・内・小・整外・消内・肛・リハ	460-3466
	22	志木	志木駅前クリニック	内・循内・腎内	473-8101	和光	中川眼科	眼	465-1144
	23	朝霞	すぎたこどもクリニック	小・アレ	458-6600	朝霞	ふじい整形外科	整外・リハ	450-1188
	30	志木	柳瀬川駅前クリニック	内・呼内・循内	486-6201	和光	萩原医院	産婦	461-2046



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。